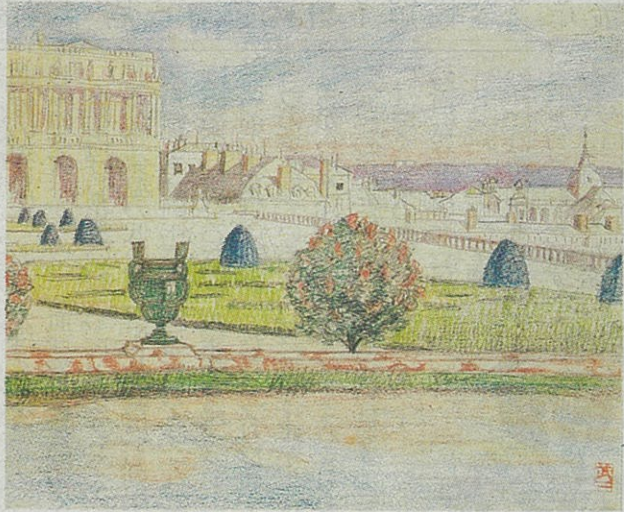


文化・芸術



「ヴェルサイユ風景」

1906、07年、クレヨン、鉛筆・紙
20.7cm×24.9cm

藤島武二 (1867-1943年)

現在、大川美術館で 展開はとも興味深い
は、「20世紀アート1」ものです。

20」と同時開催で、
「藤島武二のスケッチ 繊細で甘美な明治浪
漫主義のグラフィック
100」画家が歩んだ なイメージから、40歳
明治、大正、昭和」と での欧州留学をきっかけに飛躍しています。
題して特集展示をして
います。

藤島武二といえば、
日本の近代洋画の巨匠 作品。水平線と垂直線
の一人として知られて の意識が強く、色彩も
います。その藤島の初 明快で、画面のなかに
期から晩年までのスケ しっかりした骨格が備
ッチ作品100点を時 わっているように感じ
代順に展示していま られます。この造形感
す。日本の元号で時代 覚こそ、「明治」の画
をまとめてはいます 家から20世紀の画家へ
が、一人の画家の成長 と変貌していったこと
が、19世紀から20世紀 をあらわしています。
へと変わる美術の歴史
とも重なるので、その

(田中)

《名画の扉》

大川美術館特集展示
「藤島武二のスケッチ100」から